日本史第３問

次の(1)～(4)の文章は，江戸時代半ば以降における農村の休日について記したものである。これらを読んで，下記の設問 A・B に答えなさい。

(1)　村の定書をみると，「休日」「遊日」と称して，正月・盆・五節句や諸神社の祭礼，田植え・稲刈り明けのほか，多くの休日が定められている……

(2)　百姓の日記によれば，村の休日以外にそれぞれの家で休むこともあるが，村で定められた休日はおおむね守っている……

(3)　……若者が大勢で頻繁に押しかけてきて，臨時の休日を願い出ている。名主は，村役人の寄合を開き，それを拒んだり認めたりしている……

(4)　若者組の会計帳簿をみると，支出の大半は祭礼関係であり……

設問

A　当時，村ごとに休日を定めたのはなぜか。村の性格や百姓・若者組のあり方に即して，3 行以内で述べなさい。

B　幕府や藩は，18 世紀末になると，村人の「遊び」をより厳しく規制しようとした。それは，なにを危惧したのか。農村社会の変化を念頭において，2 行以内で述べなさい。

【農村の自立・寄合・余暇の発生・農民統制】

●　農業生産力の向上が社会を根底から変えていくことは世界における歴史の必然である。では江戸時代の農業生産の向上はいかなる条件のもとに実現され，農村社会をどのように変化させていったか。7 行以内で説明せよ。（１）

【農村社会の変質と享楽】

●　江戸時代には農村の生産力に支えられて，都市が著しい発展を見せた。その結果，封建制を揺るがすような社会体制も形成され，これが数次に及ぶ政治改革となって現れるのである。では，江戸時代の都市はどのように発展し，いかなる問題を生みだしたのか。10 行以内で説明せよ。（１）

【貨幣経済と幕藩体制の動揺】

●　幕藩体制を崩壊に導いたものに，貨幣経済がある。なぜこれがあの強固な幕藩体制を揺るがしたのか。４行以内で説明せよ。（２）

◆コメント◆

幕藩体制の動揺，というウルトラ頻出テーマでした。今回は農村にスポットを当てているので，関連事項を思い出しやすかったでしょう。一般的には，寄生地主，商品経済，都市経済，町民文化といった重要事項を，関連づけて統一的にきちんと勉強しておいたほうがいいでしょう。